

クミアイ化学グループのあゆみ

クミアイ化学は、1949年に創立して以来、70年以上農薬の研究開発・製造・販売を続けてきました。地球規模の問題である「世界の食料安全保障」「環境の保全」に貢献すべく、これからも日々挑戦を続けていきます。



創立～国産農薬の開発 (1949～1968)

戦後、農業生産力の低下が大きな課題となる中、農薬の製造・販売を行い食料問題の解決に貢献。1959年には国産農薬第1号となる殺菌剤「アソジン」、1965年には「キタジン®」の販売を開始するなど、国内農薬メーカーとしての地位を確立しました。

国内農薬のトップメーカーへの躍進 (1969～1989)

高度経済成長期、産業構造の変化により、農業就労人口が急激に減少し、農作業省力化のニーズが増加。当社が開発した除草剤「サターン®」は、1974年には全国水田面積の50.4%で使用され、当社の成長と屋台骨を支える最初の大型商品になりました。しかしながら、減反政策や急激な円高の影響を受け、1981年をピークに業績の低迷が続くこととなります。

研究開発型グローバル企業への展開 (1990～2016)

国内の農業市場が伸び悩む一方、地球規模では爆発的な人口増加を支える食料の安定供給が大きな課題となりました。当社が早くから手がけた世界市場に向けた製品の研究開発の成果は、1990年代に実を結び、米国や東南アジアで大きく売上を伸ばしました。2011年には畑作用除草剤「アクシーブ®」の販売が開始され、現在でも当社の成長をけん引しています。

化成品事業を擁する最先端の化学メーカーへ (2017～現在)

新たな価値創造に向けて、2017年にイハラケミカル工業と経営統合。創薬から製造、販売までを一貫して手がける農業事業を軸に、化成品事業を擁する体制を確立しました。長年培った技術を活かし、新たな顧客ニーズに応える製品開発を推進するとともに、持続可能な社会の実現に向けた新しい取り組みを加速しています。

イントロダクション
トップメッセージ
クミアイ化学グループの価値創造
持続可能な成長の実現のための戦略
成長実現のための基盤の強化
コーポレートデータ